

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人至泉会あけぼの園		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 25日		～ 令和7年 12月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32人	(回答者数) 26人
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 25日		～ 令和7年 12月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	20人	(回答者数) 20人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 15日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○個々に応じた柔軟な支援	<p>○日々の支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の対応が必要な場合には、職員の配置人数や利用できる場所などをクラス間で調整し、できるだけお子さんのニーズに添った柔軟な対応ができるようにしています。 ・職員配置を国の基準より多くし、お子さん一人ひとりに対して必要な支援が保たれるよう配慮しています。 ・お子さんの発達に応じた生活用品や道具を使用したり、食事に配慮が必要なお子さんは保護者と相談して対応するなど、お子さんにとって無理のない生活を考えています。 ・お子さんの変化に合わせ、毎日の振り返りで支援の方針を確認しています。その日の支援に関わらなかった職員にもできるだけリアルタイムに共有しています。 	
2	○風通しの良い環境	<p>○園児家族に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子登園日を年2回実施し、保護者がお子さんと一緒に集団生活を体験したりお子さんの様子を観察したりする機会としてます。また、保護者見学を推奨しており、気軽に見学してもらえるように短時間や急遽でも受け付けをしています。 ・運動会やクリスマス会は地域の広い会場を借り、きょうだい児や祖父母にも参加できるようにしています。なつまつりやハロウィンなどの行事では、希望する保護者に運営ボランティアとして参加してもらっています。 <p>○外部機関に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当園と同地域にある幼稚園や園児の居住地にある幼稚園との交流機会を設けています。 ・大学等からの実習生、高校生や中学生の福祉施設体験、個人ボランティアの受け入れをしています。 ・地域の障害児通所支援事業所から成るネットワークに参加したり、行政機関や他のサービス事業所等からの見学希望に応じています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学は随時推奨していますが、保護者がお子さんへの対応や関わりを実際に体験する機会を、親子登園日以外でも推奨していけると良いと考えます。 ・地域のネットワークについては、当園が中心的な立場として充実させていけるよう努めます。
3	○支援および運営の質の向上に関する職員の取り組み	<p>○定期的な支援の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットや怪我が起きた場合は当日中に周知するとともに、今後の対応を検討したうえで、月にフィードバックをしています。 ・権利擁護(虐待防止)に関するセルフチェックリストを毎月実施し、職員が自身の支援について振り返る機会を設けています。それを権利擁護委員会が集約し結果を職員へ周知しています。検討が必要な場合は委員会やその他適切な会議の場に議題として挙げています。 <p>○職員間の意見交換や意見発信の機会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の振り返りや毎月のクラス会議にて、お子さんの支援や運営について直接発信できる機会があります。 ・毎月のセルフチェックリストに職員からの意見欄を設け、「あけぼの園をもっと良くするために」という観点での意見を収集しています。挙がった意見については、最適な会議にて検討しています。 <p>○多職種連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童精神科医や療法士が実際の集団生活環境に入って、お子さんの観察や直接支援をしています。多職種との連携によって多様な視点を持つことができ、小さな事から相談や意見交換がしやすい雰囲気を持っています。 <p>○園内研修・訓練の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各指針や計画に沿った研修および訓練を丁寧に実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修だけでなく、外部研修への参加が充実すると、更に職員の研鑽機会になると考えます。 ・心理士や言語聴覚士が配置できる体制の検討をしていけると良いと考えています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○活動空間や設備面	<ul style="list-style-type: none"> ・個別対応のために利用できる部屋や物品管理に利用できる空間が十分ではありません。 ・近隣の地域に熊の出没情報があった場合は危険回避のため一時的に戸外活動を自粛することがあります。その際、園庭が園舎に隣接していないため、戸外活動に限りがあります。 ・個室設計のトイレではないため、プライバシーが保たれにくい場所があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別に利用できる空間や物品保管の場所が十分でない点については、物品の整理整頓、利用できる部屋のスペースや時間を分割する等の工夫で補っています。 ・園庭の代わりにすぐに遊べる屋外スペースとして、各教室のテラス、ミニ園庭、屋上園庭を利用しています。 ・トイレについては、介助スペースを含めた個室を確保できる面積がないため、パーテーションやカーテンで区切るなどの工夫でプライバシーに配慮する必要があります（現在も場所によってはカーテンを設置しています）。
2	○他事業所との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・日中一時支援事業所など、他事業所を利用しているお子さんのより良い生活に繋がる情報共有について、事業所間の連携が不十分と感じることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より適切なタイミングで関係機関と連携がとれるように、組織的に職員の役割などを柔軟に考える必要があります。
3	○保護者支援	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者勉強会などに参加できる保護者が少なく、保護者支援の充実が図れていません。 ・保護者が集団の中にお子さんの様子を把握する（見たり聞いたりする）機会が十分ではないと感じることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の関心などを把握し、それに応じた内容の勉強会等を検討していく必要があります。また、仕事やきょうだい児の都合で参加しにくいことも想定し、開催日や参加方法に柔軟性を持たせられるかの検討をします。 ・定例の保護者支援以外にも、個々の必要に応じて見学や体験の機会を提案していけると良いと考えます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 令和8年 1月 30日				利用児童数 32名	回収数 26名
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	1	1	0	・園庭が離れていて遊具が少ない。※1 ・少人数なので、スペースは十分と思います。 ・目が行き届く広さで良いと思います。 ・室内の他、テラス、園庭もあり十分だと思います。	〇たくさんの心温まるメッセージを頂き、ありがとうございます。また、改善に繋がるご意見を頂き、ありがとうございます。 毎年、保護者の皆様から頂いたご意見をもとに、より良い環境を目指して検討しています。ご意見の通りに実現するが難しいことも多いのですが、その場合は代替となる対応を検討させていただいています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	25	0	0	1	・手厚くみていただいています。 ・職員の数も多いので安心して預けることができています。	工夫している点や職員側からみた検討事項などにつきましては『事業所における自己評価結果』および『事業所における自己評価総括表』をご覧ください。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	2	0	1	・イラストで分かりやすくなっていると思います。 ・教室、ホール、トイレなど、部屋ごとに絵が描かれているのでわかりやすいです。 ・問題ないと思います。	・ご意見※1について…園庭が園舎に隣接していないため、屋上園庭（園舎2階）や三二園庭（ホール外）を利用することで補っています。また、園庭遊具のほか、近隣の公園に出かけたり、出し入れできる運動器具を使っていろいろな遊びができるように留意しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	0	0	0	・いつも清潔できれいに保たれているので安心できます。 ・キレイです！ ・清潔で過ごしやすい空間だと思います。	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	2	0	0	・様々な専門の先生たちにみてもらえています。 ・子どもの特性に合わせて声の掛け方なども考えていただいているので感謝しています。 ・特にトイレトレーニングではこどもに合わせてルール作りをしてくださっています。	〇たくさんの心温まるメッセージを頂き、ありがとうございます。 お子さん一人ひとりの状況を理解し、お子さん本人に寄り添った支援を多角的な視点から考えていけるよう、職員同士や保護者の皆様との情報共有を大切にしていきたいと思っています。保護者の皆様には、お子さんの様子や支援について感じる事などをたくさんお話しいただければと思います。 工夫している点や職員側からみた検討事項などにつきましては『事業所における自己評価結果』および『事業所における自己評価総括表』をご覧ください。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	0	0	0	・合っていると思います。 ・合っていると思います。 ・問題ないです。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	0	0	0	・面談の時に見せていただく評価表や計画書は、子どものことをよく理解していただいていると思い、嬉しく思います。 ・よく話しを聞いてくださいます。 ・子どもの近況を先生方とお話ししたうえで丁寧に支援計画を作成していただいています。 ・面談の他、日常的にも聞き取りがあるので理解の上で作成されていると感じます。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	1	0	0	・分かりやすく説明され、納得のいく内容でした。 ・適切に設定されていて、明確に設定されていると思います。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	0	0	0	・思います。 ・思います。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	0	0	0	・その時の子どもの様子に応じて適切に組まれていると思います。 ・色々なプログラムがあり楽しく活動に取り組んでいると思います。 ・午前と午後でプログラムを変えて実施されています。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	26	0	0	0	・ありました。とてもたのしかったです。 ・月に一度、居住地交流でお世話になっています。 ・居住地交流があり、子どもにとってとても良い経験になっているように感じています。 ・年長ということもあって、数回、幼稚園と交流がありました。	

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	0	0	0	・丁寧な説明がありました。	〇たくさんの心温まるメッセージを頂き、ありがとうございます。 保護者の皆様には、日頃から登園の運営にご理解とご協力を頂いており、感謝いたします。また、連絡帳を紙からアプリに変更した際も、年度途中にも関わらずご協力いただきまして、ありがとうございます。 家族支援（きょうだい児含む）の充実や相談・申し入れへの対応に関しては、文章として挙がってきていないものの数字として表れている意見にも着目していかなければと思っています。 工夫している点や職員側からみた検討事項などにつきましては『事業所における自己評価結果』および『事業所における自己評価総括表』をご覧ください。 工夫している点や職員側からみた検討事項などにつきましては『事業所における自己評価結果』および『事業所における自己評価総括表』をご覧ください。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	0	0	0	・丁寧に分かりやすく説明していただきました。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	26	0	0	0	・園外のものがあれば教えてほしいです。 ・色々な勉強会があり、とても参考になりました。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	25	1	0	0	・おむかえの時に日中のすごし方を教えていただき、楽しくすごしていると思います。 ・みなさんいい先生なので伝えやすいです。 ・送り迎え時や連絡帳で園の様子を知れるので安心できます。 ・対面と連絡帳で共有できていると思います。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26	0	0	0	・面談時には詳しく丁寧に教えていただいています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	0	0	1	・思います。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	3	1	3	・運動会など一緒にたのしみました。 ・上に姉がいますが、運動会など一緒に参加できて楽しそうです。 ・座談会、勉強会、行事のボランティアで保護者同士の交流があり、支援されていると感じています。 ・タイミングが合わず父母会等は不参加になっていますが、交流の場はあり支援されていると感じます。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	0	1	2	・困った時に電話でも対応していただけるので感謝しています。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	0	0	0	・思っています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	25	0	0	1	・最近インスタもはじまり、うれしいです！ ・連絡帳アプリやプリントにとでもわかりやすく書かれています。 ・今年度はInstagramでも発信されており、より情報を受け取りやすくなりました。	
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26	0	0	0	・思います。		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	0	0	2	・されていると思います。	〇たくさんの心温まるメッセージを頂き、ありがとうございます。 当園には感染症対策委員会や安全管理委員会があり、感染症や非常災害に関する指針の整備や研修および訓練の実施をしています。ホームページ内の『あけぼの園 支援プログラム』にも掲載しています。 工夫している点や職員側からみた検討事項などにつきましては『事業所における自己評価結果』および『事業所における自己評価総括表』をご覧ください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25	0	0	1	・様々な危険を想定した避難訓練があり安心できます。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	1	0	1	・玄関、教室ごとに鍵があり、細かいところまで注意や配慮が行き届いていると思います。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	2	0	1	・事故が起こったことがないのでどちらとも言えません。 ・説明していただいています。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	25	1	0	0	・あけぼの園が大好きです。 ・毎日楽しく安心して通っています。 ・クラス担当以外の先生も声を掛けてくださるので心地よく、安心して通っています。	〇たくさんの心温まるメッセージを頂き、ありがとうございます。 集団生活の中では、自分の思い通りにいかずに悔しい思いをすることも多いかと思っています。それでも、お子さん自身がつても多く「わかった」「できた」「たのしい」「うれしい」「がんばってよかった」を感じられるよう、お子さんの気持ちに寄り添いながら一緒に過ごしていければと思います。 工夫している点や職員側からみた検討事項などにつきましては『事業所における自己評価結果』および『事業所における自己評価総括表』をご覧ください。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	25	1	0	0	・嫌がったこと一度もないです！ ・あけぼの園が大好きです。 ・たまに行くのを嫌がりますが、行ったら楽しんでいるみたいです。 ・とても楽しみにしています。 ・登園時は大体笑顔で駆け足です。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	26	0	0	0	・園での活動を通して、少しずつ出来る事が増え成長している事を感じ、日々先生方には感謝しております。 ・1人1人に合った支援、細かい配慮をして頂き、とても感謝しています。 ・園長をはじめ職員のみなさまのお力によって子供の成長を実感でき、また健全な運営に対し感謝しています。 ・子どもも親も安心でき、嬉しそうに園でのことを話してくれるのでとても満足しています。 ・とても満足しています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		社会福祉法人至泉会あけぼの園		公表日		令和8年 1月 30日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	19	1	・その都度活動に応じて机や椅子を片付けるなど工夫をしています。 ・定員からすると問題はないのですが、活動によっては広いスペースが必要となることもあるため、グループを分けるなどして工夫しています。 ・個別対応が必要な場合が多くなる中、限られたスペースを工夫しながら過ごしていると思います。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	18	2	・その日の出席状況に応じて、クラス間で調整しています。 ・定員からすると問題はないのですが、個別対応が必要なことが多くあるため、他クラスとも調整しながら安全に過ごせるようにしています。 ・状況に応じてクラスの配置職員数を変えています。	・個別対応が必要なことが多いクラスは、配置人数を手厚くするなどの柔軟な対応が必要だと思います。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	20	0	・できるだけシンプルに、お子さんにわかりやすいように、その都度配置を工夫しています。 ・パーティションの活用、教室の整理整頓等の工夫をおこなっています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	19	1	・空間に合わせて活動できるように工夫していると思います。	・手洗い場の水垢やカビを予防するために、体に害のない重曹やクエン酸を使用しても良いかと思います。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	20	0	・空間を分ける際、パーティションを使用しています。 ・個別療育が必要な場合に、教室以外の部屋を利用しています。	・お子さんの状態によってホールなどの個別空間を使用できるのは良いのですが、利用できる部屋が少なく、需要が重複すると難しい場合があります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	19	1	・業務改善については、会議内で「提案→検討→実践→評価」をしており、広く職員が携わっています。 ・毎日、密におこなっています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20	0	・保護者の意向は聞きやすい環境だと感じます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20	0	・虐待防止セルフチェックを活用したり、会議を通じて、全職員が意見できる機会を設けています。 ・セルフチェックの意見欄にて、毎月職員の意見を自由に記入できる機会があります。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	19	1	・嘱託医や産業医などの意見を参考にしています。	・第三者による外部評価は実施できていません。今後、行政と連携していきます(中核機能)。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	20	0	・定期的に機会を設けています。 ・非常勤職員に対しても、少ない時間のなか研修をビデオ等で受講できるように工夫しています。	・法人内での研修で日々の振り返りができていますが、外部研修にはなかなか参加できない現状があります。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	20	0	・ホームページに公表されています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	20	0	・親子登園日などで保護者とお子さんの現状を確認したうえで計画に関する面談を実施しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	20	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	20	0		・作成にかかわっている職員は周知していますが、非常勤職員にはしっかりと共有できていない部分もあると感じています。	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	20	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	20	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	20	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	20	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	19	1	・基本的には集団で過ごせるように支援していますが、その都度臨機応変に対応できるように配置を工夫し支援しています。	・職員配置によって個別対応が難しいと感じます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	20	0	・子ども達が混乱しないように、また必要な支援が途切れないように話をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	20	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	20	0		
関係機関や保護者との連携	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	19	1		・定期的にモニタリングはおこなっていますが、更に短い期間での見直しの検討があっても良いと思います。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	18	2		・そうでない時もあるため、必要な時に必要な職員が対応できるようになると良いと思っています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	20	0	・定期的に行政や関係事業所と連絡会を開催し、情報交換や地域課題の検討を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	20	0	・希望者に居住地交流を実施し、関係機関と連携をとりながら、スムーズな移行に繋がっています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	19	0	・振り返り、一人ひとりの支援が継続できるようにしています。	・必要に応じて、積極的にこちらから情報の提供をしていくことが必要だと思うこともあります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	15	1	・定期的に関係事業所との連絡会を開催しています。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	16	1	・定期的に児童精神科医や療法士より助言指導を受けています。また、必要に応じて外部研修への職員派遣をおこなっています。	・支援への人員配置が優先のため、外部研修への参加が難しいです。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	15	1	・定期的に協議会の部会や行政関連の会議へ参画しています。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	19	0	・地域の幼稚園と無理なく（保護者の参加をしていただくなど）交流することができています。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	19	0	・必要に応じて、保護者に面談等の提案をしています。		

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	17	1		・積極的に参加してもらえ開催内容のものを考えていく必要があります。どんなことを知りたいか、アンケートをとってみるなどしてみると良いと思います。 ・勉強会や講演会の参加率をあげるための工夫が必要と感じています。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	17	1		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	19	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	19	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	18	1	・保護者から相談があった時だけでなく、こちらからも声をかけ、保護者の安心に繋がるようにしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	18	0	・園内行事の運営ボランティアが良い交流の場となっています。	・保護者の交流は実施されていますが、きょうだい同士が交流する機会は殆どありません。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	20	0		・管理者と現場職員との密の連携により対応していますが、より迅速な対応が必要だったと感じることもあります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	20	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	20	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	20	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	17	3	・行事に地域住民は招待していませんが、小学生の施設見学や中学生の職業体験の機会を設けています。 ・招待はしていませんが、ボランティアの受け入れにより、園のことを知ってもらえるようにしています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	20	0	・玄関にファイルを置いており、それを『通園のしおり』にて周知しています。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	20	0	・感染症に関するBCPと災害に関するBCPを作成し、定期的な研修および訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	19	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	20	0	・医師の指示書を基に、管理栄養士や調理師、直接支援職員が留意しています。対象児の保護者には事前に除去対象の食材や変更後のメニューを確認してもらっています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	20	0	・安全計画に沿って、毎月の安全確認箇所の点検や防災・防犯・事故防止などの実践訓練を計画的に実施しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	19	0	・安全計画、その他各種指針マニュアル等を玄関に閲覧用として設置しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	19	0	・過去のヒヤリハット等をまとめ、その月に起きやすい事故を係が伝えてくれるので、注意して支援に入れます。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	19	0	・毎月の虐待防止セルフチェックを実施し、権利擁護委員会にて分析しています。また、内外の研修会の参加機会を設けています。	・チェックリストにより振り返りはできていますが、セルフチェックだと他者から見た時にはどうなのか、自身では振り返らないことがあります。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	17	1	・現在対応しているケースはありませんが、指針に基づき対応しています。	